

3月20日(祝)に、理数研究校企画として生徒24名で福島県双葉町市街、東日本大震災・原子力災害伝承館、震災遺構請戸小学校の見学をしました。

帰宅困難地域の双葉町市街地を歩き、震災直後の地震で崩れた家屋や寺の山門、避難当時のままの商店、町の掲示板、その後の余震でさらに崩れた家屋などを見ました。双葉駅から伝承館までまっすぐ行くと2kmほどの場所を迂回しながら1時間ほどかけて歩き、前回2022年7月より復興が進んでいることが見られました。

伝承館では、最初にエントランスでの映像を視聴し、語り部からの講話を聞きました。当時の生々しい現状と、復興への道筋などを伺い、展示を視察。各場所での映像資料や証言映像などわかりやすく整理されていました。

その後、請戸小学校へ。ここは、震災時に在校生が迅速に避難して在校生は全員が助かった学校で、完全に浸水した校舎1階の様子を回覧した後に2階の展示を見ました。当時の状況が伝わってくる記録が残されていました。

震災当時はまだ小さく記憶もあまりない生徒もいる中で、現地を見て、知ることによって行動に起こせることが一つでも増えたら良いと感じました。

